

お詫びと訂正

関係者各位 殿

中国内蒙古自治区阿拉善左旗地区において実施を計画いたしておりました、「日中青少年環境&スポーツフォーラム『交流の輪と緑の大地の復活』2009」について、皆様方には色々な角度からご指導ご協力を頂きまことに有り難う御座いました。実施を目前に予想もしなかった様な事態が生じ、対策委員会として多方面から検証いたしました結果として、以下のような結論を出さざるを得ないという結論に達しました。関係各位の方々には深くお詫びをすると同時に、開催時期の訂正をさせていただきます。

8月中旬から、新型インフルエンザが日本国内において猛威を振るっており、重症患者を始め死者の方も多数出ているような状況があります。中国国内においても流行していることは十分に想定できるものであり、参加された青少年の方々にその累が及ばないという裏づけを取ることができず、専門家の意見も「9月から11月にかけて相当数の感染者が出ることが十分に予想できる」とのことです。5月に新型インフルエンザが発症し、関西方面で流行し始めた頃から対策委員会を立ち上げ、その状況を見ながら7月後半の実施をあえて9月中旬から下旬に移行し、夏を過ぎれば冬までその心配は無いとの意見もあり、安全の確保をどのようにするかを確認した上で、9月中旬から下旬にかけての実施を決定いたしましたが、このたびこのような状況下で、今回の計画を中止するという、苦汁の選択をせざるを得ない状況になりました。

参加を希望されていた青少年の方々には、その希望・意欲をそぐような結果になってしまいました。それぞれの方々に対し、事情を説明しご理解を頂きました。

関係各位に対しては、実行委員会の不手際も有り、ご連絡が遅れてしまったことについては、深くお詫びを申し上げます。

これからスタッフ一同来年度の開催に向け、気持ちを新たにまい進する所存で御座いますので、引き続き皆様方のご指導ご鞭撻を戴けます様お願い申し上げます。

2009年9月4日

特定非営利活動法人(NPO)

東アジア交流協会

代表理事 藤原 臻

事務局長 山田 康雄